



超・実践訓練型のプログラム

# MISSION COMMAND ENGLISH

最短でスピーキングを仕上げる方法

The secret strategy for SPEAKING

[HTTPS://MISSION-COMMAND-ENGLISH.COM](https://MISSION-COMMAND-ENGLISH.COM)

## 【推奨環境】

この E-book 上に書かれている URL はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。(無料)

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

## 【著作権について】

- この E-book は著作権法で保護されている著作物です。
- 下記の点にご注意戴きご利用下さい。
- この E-book の著作権は作成者に属します。
- 著作権者の許可なく、この E-book の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- この E-book の開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- この E-book は秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- 著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- この E-book に書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- この E-book の作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- この E-book を利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。



## 目次

1. 「レッスン」と「ドリル」の違い .....	5
①レッスンを過信すると失敗する！？ .....	5
②インプットとアウトプットの関係 .....	5
2. ミッション・コマンド・イングリッシュにはレッスンがない！？ .....	7
✓ 1ヶ月目の内容： .....	7
✓ 2ヶ月目の内容： .....	7
✓ 3ヶ月目の内容： .....	8
3. スピーキングの効率的な伸ばし方—その1「考え方を考える編」 .....	8
4. スピーキングの効率的な伸ばし方—その2「トレーニング手順編」 .....	9
①スピーキング力を上げるにはライティング力を上げる .....	9
②魔法のライティング3つの手順 .....	11
✓ 手順1 .....	11
✓ 手順2 .....	11
✓ 手順3 .....	11
5. スピーキングの効率的な伸ばし方—その3「トレーニング実践編」 .....	12
①変換できない固有名詞の対処法 .....	12
②3回書く .....	13
6. おまけ 「知らない」と必ず困る英単語リスト」 .....	15



## はじめに

みなさん、初めまして！ミッション・コマンド・イングリッシュの田中です。これを読んでいる皆さんは、スピーキングを強化して夢を叶えたいと思っている方が多いのではないのでしょうか？

まさに、ミッション・コマンド・イングリッシュはそんな方たちのプログラムです。一般的な英会話スクールや留学のレッスンとは一線を画すプログラムで、スパルタで徹底してスピーキングの強化を目指します。

そのため、「楽しくおしゃべり感覚でレッスンをしたい人」には全くお勧めしません。そのような方は、今すぐ右上のバツテン（×）からこの本を閉じて下さい。

ミッション・コマンド・イングリッシュを本当にお勧めしたいのは、「仕事があるから留学できないけど、短期間で何とか留学ぐらいの効果を出したい本気の人たち」です。

留学エージェントとして7年間、100以上の海外教育機関を見てきて、カリキュラム開発にまで携わるようになった僕が作ったプログラムです。言語学者も推薦してくれています。

ここだけの話ですが、顧客の事だけを考えて提供されている英会話プログラムって実は少ないんです。運営効率を図るため、マーケティングのしやすさ、講師配置のしやすさなど、カリキュラム開発時に多方面からマイナス効果の調整を強いられます。

そうした世界をずっと見てきて、いつか自分で何のしがらみも受けない、そしてもっと短期間で目標を達成できるプログラムを作りたいと心の底から思っていました。

そんな時、2020年2月に日本でも騒がれ始めた新型コロナウイルス。世界中が封鎖するという事態に発展しました。これにより、世界中の海外留学の夢を持つ全ての人の夢が絶たれ、「今後どうしたらいいのかわからない」という相談を毎日のように受けていました。

「それならいっそのこと、僕がオンラインでこの人たちの夢を繋げられるサービスを提供できたらいい。そして、誰にも何のしがらみも受けない本物のカリキュラムを提供しよう！」

これがミッション・コマンド・イングリッシュ誕生の原点です。



## 1. 「レッスン」と「ドリル」の違い

### ①レッスンを過信すると失敗する！？

僕は留学エージェントの仕事上、ほぼ毎月のペースで海外現地の教育機関に寝泊まりしながらカリキュラム調査をしています。100以上の教育機関は訪れたはずで、それぞれのレッスンを朝から晩まで受けてきました。

その時よく感じたのは、『レッスン』だけでは、英会話が短期間で伸びることはない」という事です。決してレッスンを否定する気はありませんが、短期間で実践を見据えたトレーニングとしてはふさわしくないという意味です。

レッスンでは、「新しいことを学び（インプット）、そして少しアウトプットの練習をしてみる」をよく行います。繰り返しますが、レッスン単体ではとてもじゃないですが、この後実践が始まってもすぐに使えるようにはなりません。

実践では、その程度の練習では不十分だからです。

皆さんは学生の時、社会・理科・数学・英語・・・更に、社会人になってからも看護師・保育士・教員免許など様々な勉強を経験されてきたことでしょう。

ですが、なぜか英会話だけは他の教科と違って思うように伸びません。東大生でも中々できるようにならないその理由は、非常にシンプルです。英語を他の教科と同じように「座学に始まり、座学に終わるような勉強」をしているからです。

意外でしょうが、通学型・オンライン型にかかわらず英会話スクールであっても「座学がメイン」です。アウトプットの練習が沢山出来そうなイメージがありますが、実際は聞き専になる事が多く、少しのアウトプット練習だけです。実践のための練習量としては足りておらず、そのやり方が甘いと感じることが多々あります。

### ②インプットとアウトプットの関係

突然ですが、英会話の習得は「教習所」と同じプロセスだと考えてみてください。

教習所では、座学と実技訓練によって成り立っていることはご存じの通りです。また、免許



を持っている方にとっては当たり前ですが、座学が満点で、操作方法が分かっていたとしても、実技訓練なしではマニュアル車のエンジンを掛けることすらできません。

クラッチとブレーキを踏み込んだ状態から、瞬時にブレーキからアクセルに踏み変え、同時にクラッチをエンジンがかかるポイントまで戻す。これが感覚的にできるまで何度も何度もやらされます。また、慣れた頃に失敗してエンスト。これは誰しもが痛いほど経験していることでしょう。

白線の中に駐車するスキル、縦列駐車スキル、ギアを入れ替えながら右折するスキル。こうした実践のちょっとしたシーンを思い浮かべただけでも、少し練習した程度では到底うまく操作できないということがわかるでしょう。

座学をマスターすれば OK な他の教科と違い、自動車免許の取得は座学よりも実技に比重をおく必要があります。(座学<実技訓練)

英会話にもこれと同じ発想が必要です。座学やちょっとしたアウトプットをやっただけでは、実践で使えるようには到底なりません。

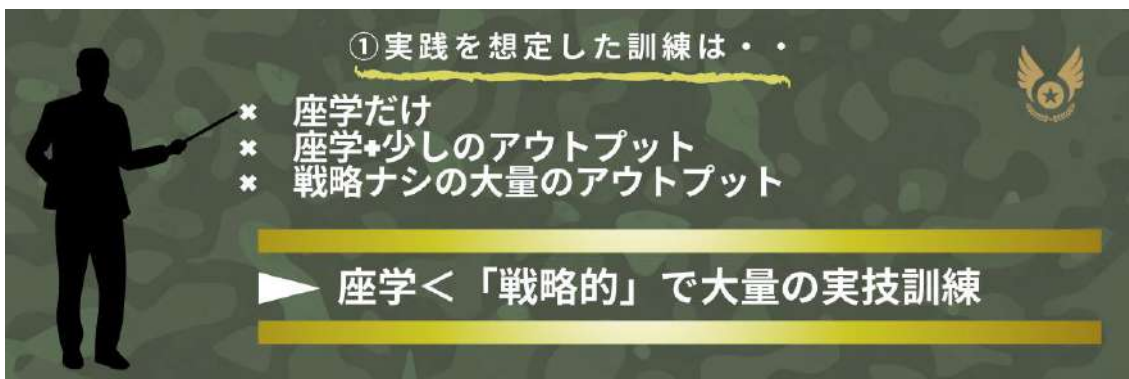
スポーツにも「座学<実技訓練」の公式が当てはまりますよね。ルールを習ったからと言ってできるようになるわけでもないし、やみくもにボールを投げたり蹴ったりする練習を沢山すれば良いというわけでもないですよ。

ドライビングスキルを磨くのも、スポーツの世界で試合に勝つスキルを身につけるにも、一つ一つのシーンを想定した「戦略的に実践を想定した訓練」をしなければ意味がありません。

このことから、英会話もやみくもにアウトプットを沢山すればいいわけではないということが理解できると思います。

英会話を習得したいと思ったら、まずはこの点をしっかりと認識してください。





① 実践を想定した訓練は・・・

- \* 座学だけ
- \* 座学+少しのアウトプット
- \* 戦略ナシの大量のアウトプット

▶ 座学<「戦略的」で大量の実技訓練

## 2. ミッション・コマンド・イングリッシュにはレッスンがない!?

短期間でスピーキングを上げることが目的としたミッション・コマンド・イングリッシュには、座学+少しのアウトプットが主な「レッスン」を行いません。

と言っても、インプットがなければアウトプットすることは無理なので、英会話スクールのレッスンにあたる部分は、予習の自己学習ですべて完結するシステムになっています。

その予習が終わったら、学習内容をきちんと実践で使えるようにするための実技トレーニング「ドリル」を徹底して行います。

英会話スクールや英語コーチングサービスでは、「座学>実技訓練」というスタイルが多い一方で、ミッション・コマンド・イングリッシュは「座学<実技訓練」の比率でプログラムを整えています。

英会話コースには、3ヶ月プラン・4ヶ月プラン・5ヶ月プランがあるので、1~3ヶ月目に応じたようなゴール設定でプログラムがあるのかを簡単にご紹介しておきます。

- ✓ 1ヶ月目の内容：
 

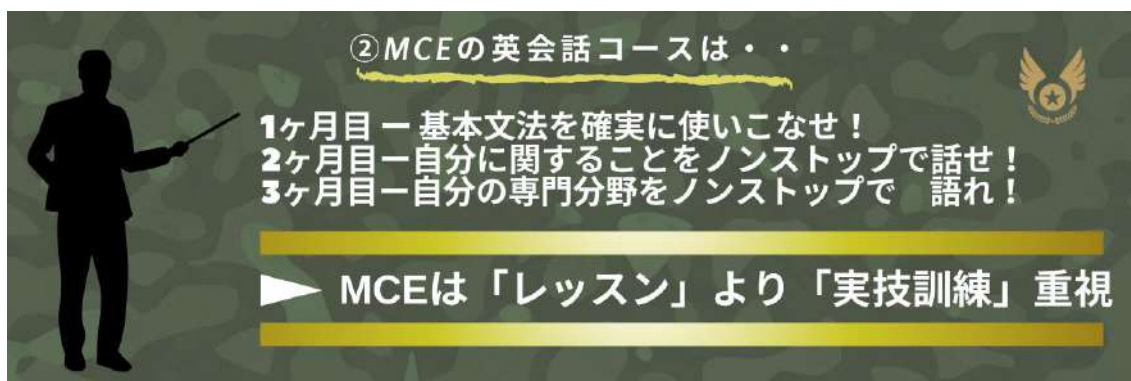
基本文法と単語を使って、最低限の文章作成能力を養いながら、その文章が確実に口から出てくるようにトレーニングするプログラムで、分単位で管理されます。
- ✓ 2ヶ月目の内容：
 

1ヶ月目で養ったスキルを応用し、「自分が伝えたいことを自由に言える」ように全く違うやり方でトレーニングするプログラムです。



- ✓ 3ヶ月目の内容：  
2ヶ月目のやり方を踏襲し、「特に自由に話せるようになりたい分野（仕事・趣味・関心事）に絞込み、その分野で深く英語で語れる」ようにトレーニングするプログラムです。

## 【参考】

[ミッション・コマンド・イングリッシュの訓練の様子](#)3. スピーキングの効率的な伸ばし方ーその1「考え方を変える編」

英語の教材では、「○○○と言う間違った英語を使ったらネイティブにバカにされる」「意外と気付いていない！日本人がよく使う恥ずかしい英語」なんてタイトルを見ることがあります。

これらの殆どは、英語教材を売るためのつりです。

なぜなら、一生懸命外国語を話そうとしているノンネイティブの人に対して、その使い方が間違っていたからと言ってバカにするネイティブは少ないからです。

例えば、日本に留学している留学生の日本語を聞いたとき、彼らの日本語が不自然だったとしても、難しい日本語で意思疎通が出来るだけでも「すごいね！頑張っているね！」って思うのが普通ですよ。

こう考えた時、母国語ではない言葉で必死にコミュニケーションを取ろうとしている人たちを見て、卑下するネイティブがいれば、それは付き合うに値しないと僕は思います。

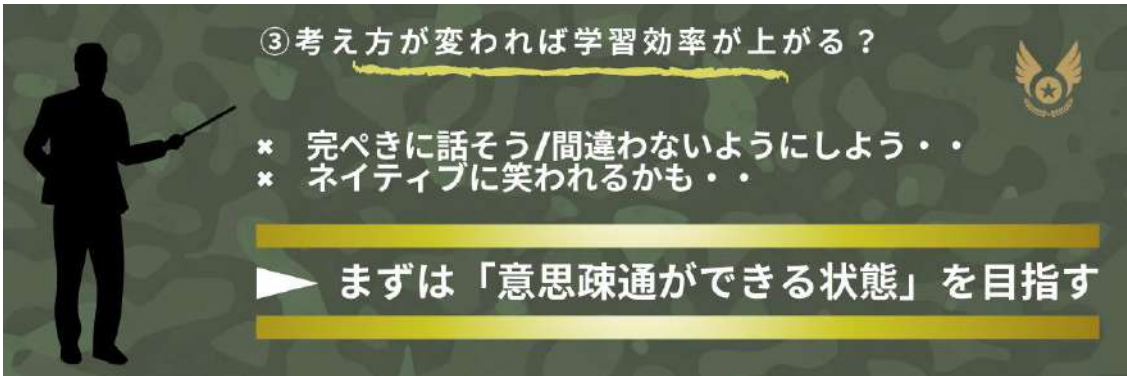




そんな偏見に支配されてしまうと、いつまで経っても話せず、業者のカモにされてしまうのがオチなので注意してください。

英会話の場面では、色んな人種がいて、人それぞれ英語のレベルは違います。ですが、肝心なのは、「相手を自分の英語力で圧倒してやろう」とか「かっこよくしゃべってやろう」なんてことではなく、「自分の意思を伝える」ということです。

初心者はこの考え方で取組むだけでも、英語学習に対する敷居が下がって勉強が捗るようになります。



③考え方が変われば学習効率が上がる？

- ＊ 完璧に話そう/間違わないようにしよう・・・
- ＊ ネイティブに笑われるかも・・・

▶ まずは「意思疎通ができる状態」を目指す

#### 4. スピーキングの効率的な伸ばし方ーその2「トレーニング手順編」

読者の皆さんの中には、スピーキングってどうやって伸ばせばいいんだろう？って悩んでいる方は多いと思います。

従来の「座学>実践訓練」の考え方では、英会話は上達しないし、戦略的ではない大量のアウトプットでは効果が薄いというお話をしました。

ここでは、英語学習者の中では中々浸透していない考え方だけど、「ある戦略」を持って実技訓練をすると効率的に伸ばせるよっていうことをお伝えします。

##### ①スピーキング力を上げるにはライティング力を上げる

スピーキングを効率的にあげるためにはライティングが近道です。



理屈はシンプル。「ライティングとスピーキングの英文をアウトプットする思考回路は同じ」だからです。初心者がスピーキングしようとしたとき、

〈スピーキングとライティングの英文をアウトプットする思考プロセス〉

言いたいことを日本語で思い浮かべる



頭の中で英語に訳す



口に出して言う/紙に書き起こす

プロセスの違いは、このように口から「話す」か紙に「書き起こす」かの違いだけです。ただ、厳密にいうと、2つには以下の違いがあります。

スピーキング	ライティング
瞬間的に話す必要がある	ゆっくり考えて書き出せる
アウトプットしたものを振り返れない	アウトプットしたものを振り返れる

「ライティングがスピーキング対策に効果的」な理由は、実はここにあります。

ライティングは「あーでもない、こーでもない」と考えながら、ある程度まとまった考えをアウトプットできる一方で、スピーキングにはその時間が与えられません。(＝ライティングは考えながらアウトプットする時間が与えられる)

またライティングは、アウトプットしたものが合っていたかどうかを確認して修正することができる一方で、スピーキングは、アウトプットしたものを既に細かいところまで覚えていません。(＝ライティングは後で見直すことが可能)

何が言いたいかというと、「パッとライティングもできない文章」がスピーキングで出てくると思いませんか？逆にライティングでパッと書ける文章は、スピーキングでパッと出てきます。この状態を作れるように、ライティングで対策を行えばいいわけです。

ミッション・コマンド・イングリッシュでも、2ヶ月目にはライティングのタスクが入って



きますが、ここでは一人でもできるライティングトレーニングの手順をお伝えします。

## ②魔法のライティング3つの手順

条件：スピーキングと同条件を作り出すため、このトレーニングでは「自力で辞書なしで書く」という事を守ってください。辞書をつど引いていたら、ライティングでスラスラかけなくなるからです。

### ✓ 手順1

書きたいことをまずは日本語で書きだしてみてください。

### ✓ 手順2

日本語で書いた文章を、今度は幼稚園児並みの日本語レベルで簡単に書き直してください。

~~~~~  
なぜこのようなことをするのかというと、あなたの今の高い日本語レベルで書いたものを、辞書なしで直訳するのは不可能だからです。

例えば、あなたが31歳だとすると、英語ネイティブ31歳並みの英語力（語彙力・表現力）がないと直訳は困難で、辞書なしでは到底書けません。

だけど、これが「幼稚園児」が使うような日本語なら、だれもが知っている簡単な表現だけで可能になります。まずは、「伝える」ことが大事！

待たなしの実践が始まった段階で、「自分の持っている英語力だけで英会話を成り立たせる」ことを意識します。

例：「暗記する」が訳せないとき→「覚える」と簡単な日本語にしてみる→中1の時に習ったシンプルな”lean”で同じことが言えますよね？

~~~~~

### ✓ 手順3

手順2の優しい日本語を英訳します。手順1で書いた（難しい方の）日本語表現では訳せなかった表現でもスラスラと書けるようになります。

~~~~~



この簡単な英語であってもほとんどの日本人は出せずに挫折しています。傾向として初心者程、「かっこよく話したい」という欲にかられています。

ですが、幼稚園レベルの英語もろくに話せない人が、どれだけ現実離れた目標をもって掲げてしまっているのか気づいていません。そんな人ほど、先に説明した手順1（難しい日本語）を直訳しようとして失敗し、結局何も伝えられずに実践ではほぼ黙り込むようになります。

~~~~~

④ 効率的なスピーキングの伸ばし方の手順

手順1. 伝えたいことを日本語で書き出す  
 手順2. 1を幼稚園児並みの日本語に書き換える  
 手順3. 2を英訳する

▶ 英語→日本語ではなく「日本語→簡単な日本語」に変換するスキルを身につけると今の実力だけで英会話が可能に！

## 5. スピーキングの効率的な伸ばし方—その3「トレーニング実践編」

まずは、「魔法のライティング3つの手順」を守ってやってみましょう。

ただ、このトレーニングを実践しているといくつかの壁に当たるはずなので、ここではそれらの克服方法について解説します。

### ①変換できない固有名詞の対処法

動詞・形容詞などを簡単な言葉に置き換えられたとしても、注射器 (injection) のように、それ以上簡単にできない「固有名詞」をどうするか？という問題が発生します。

一体どう対処すればいいのでしょうか？

実は皆さん、日常的にこの問題を解決しています。「説明」しますよね？例えば、下の会話を見てください。



〈注射器という固有名詞を度忘れしたら・・・〉

あなた：あー、なんだっけ、ちょっと名前度忘れしちゃっただけどー。病院で使うやつ。インフルエンザにかかったときとか、熱が下がらないときに使うじゃん。で、痛いやつ。子どもとかは結構泣くから大変なやつ。

相手：あー、注射器のことね！

〈友達と一緒にコンパに行った時にいた男性の名前を忘れたら・・・〉

あなた：あの人名前知らないんだけど。先週金曜日にコンパ行ったじゃん。あの時、右端に座ってた男。ハット被ってて、緑のシャツ着てて、自己紹介以外、一言も話さなかった人いたじゃん。

相手：あー、私も名前覚えてないけど居たね！

こんな風に「説明」しますよね？説明してあげれば、その固有名詞を英語に直訳できなくても、相手に自分と同じ映像を浮かべることができます。ほら、これだけで意思疎通できていますよね？

そのため、ライティングのトレーニングでも、固有名詞が分からないからといって、いきなり辞書を使わず、まずはそれを簡単な文章で説明する癖をつけてください。

これを辞書で調べる癖を持っている人は、これがスピーキングになったとたん、「自分は話せない（汗）」となって黙り込んでしまいます。一方で、説明する癖をつけた人なら何とか意思疎通ができるので、会話が成り立ちます。

仮に、前者・後者どちらも同じ英語力だったとしても、発想が違うだけで全く違う結果になります。

### ②3 回書く

手順3 で書いた英文は、「Hello」「Thank you」のように、文法など意識しなくてもスラスラ



書けるまで、何度も書いてください。最低3回。それが出来ると、既にスピーキングではパッと出てくるレベルになっているはずです。

~~~~~

2回3回と書いているうちに、1回目とは違った単語や表現を使うことがありますが、これはこれでOK。伝えている事が同じである限り、正解でも間違いでもありません。

日本語でも、同じことを違う人に伝えるとき、使う表現や単語が毎回変わるのには良くあることです。また、このライティングはパソコンを使ったタイピングでも同様の効果があります。

~~~~~

因みに、ミッション・コマンド・イングリッシュ 2ヶ月目の訓練では、この応用編（シンプルな表現からネイティブのような表現が口から出てくる特殊トレーニング）を行っています。

⑤ ライティングトレーニングの実践

- 変換できない固有名詞が来たら、「説明」で対応。
- 同じ文章を3回以上書く。

▶ スラスラ書けると、スラスラ話せるようになる



## 6. おまけ 「知っていないと必ず困る英単語リスト」

最後に、英会話スクールや留学をする際に、殆どの人が知らなかったという単語をまとめています。一般の単語帳にはあまり載っていないので、英語中級者の人でも知らずに苦戦しています。

それは、文法用語や時制などの英単語です。日本では「現在完了形とは～」のように日本語で解説してくれますが、授業では「Present Perfect Tense is～」と英語で解説になるので、ある程度単語知っている人でも「あれ？」となりがちです。

そのため、これらの単語を知っていなければ文法の授業をやっているときにさっぱりわからなかったとなってしまうかもしれません。また、自分が文法について聞きたいときにも何も聞けないとなってしまうので、これらは必ず覚えてください。

因みに、ミッション・コマンド・イングリッシュでは、日本語での文法講義も提供しています。

<英語の文章の型>	<文法用語>	<その他>
主語 Subject	現在形 Simple Present	単数形 singular
動詞 Verb	現在進行形 Present Continuous	複数形 plural
名詞 Noun	現在完了 Present Perfect	
形容詞 adjective	過去形 (Simple) Past	
副詞 adverb	過去進行形 Past Continuous	
修飾語 Modifier	過去完了 Past perfect	
目的語 Object	未来形 Future	
補語 complement	受身 Passive	
前置詞 Preposition	関係代名詞 Relative Clauses	
	仮定法 If clauses	
	不定詞 Infinitive	
	動名詞 Gerund	
	冠詞 Article	
	接続詞 Conjunction	
	比較級 Comparison	





＼ ミッション・コマンド・イングリッシュについて詳しく聞きたい /

- ・どれくらいハードなのか詳しく知りたい
- ・今の自分のレベルでも大丈夫なのか不安・・・
- ・本当に目指すレベルが達成できるのか聞いてみたい

このようなご質問にお答えするため、専門のスタッフがカウンセリングを行います。ミッション・コマンド・イングリッシュがあなたに行ったりのプランをご提案します。



電話によるお申込みはこちら  
0120-504-216

50秒  
簡単予約

入会前無料  
英語力測定&カウンセリングを予約

